

かんおんじ まるごと美術館



観音寺市は、まち全体が美術館！

市内には、とっておきの芸術作品がいっぱい。

さあ、地図を片手にアートを巡る旅に出かけよう♪



① 一の宮公園

イサム・ノグチ遊具彫刻と五感でふれあう

青い空と海、そして緑の芝生、太陽を一面に浴び、
溶け合う空間の中に、自然と地球と宇宙との対話を
楽しむようにとの思いから
イサム・ノグチの遊具彫刻が設置されている。
そこには、子どもからお年寄りまで、
すべての人が遊具を通して、空、太陽、宇宙を感じ、
時のたつのも忘れるかのように
壮大な気分を味わうことができる。



松の木漏れ日のなか、親子で遊具が楽しめる。



石碑の裏には、筆記体のサインが刻まれている。



所在地／観音寺市豊浜町姫浜55番地2
(豊浜コミュニティセンター「海の家」)
アクセス／車で…大野原ICから車で約3分
電車で…JR豊浜駅から徒歩約15分



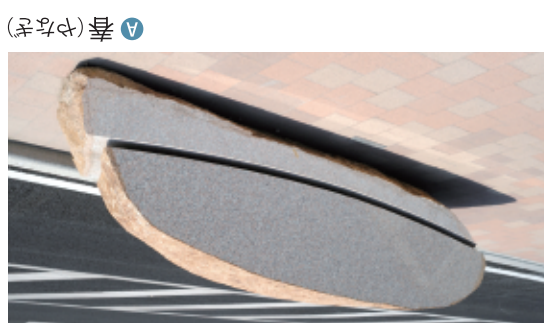
④ 冬 (凛々)



③ 秋 (月)



② 夏 (太陽)



① 春 (やなぎ)

自然への回帰・春夏秋冬

彫刻家 和泉正敏氏が「合併した新・観音寺市のシンボルに」と制作した作品。
「さんたろう」は、これからのまちづくりに向け、明るさや活気、静けさを街の
中心から発信しようとしている。広場は庵治石の砂利で舗装されており、
作品と美しく調和している。

都市と自然が調和した力強さを感じる空間

⑧ 柳町通り

やなぎまちどおり



② トイレの家

光の差し込み方により様々な様子が見える
瀬戸内国際芸術祭2013の作品。
旧伊吹小学校の校庭に設置されたトイレ。
天井に開いた穴は、かつて水が貴重だった伊吹島に
欠かせない天水井戸をイメージ。
また、建物内を交差する光の線は、
島から世界6都市をつないでいる他、
伝統行事や季節ごとの太陽の方位を示している。



Photo: Keizo Kioku

④ 伊吹の樹

生命の誕生の場
瀬戸内国際芸術祭2019の作品。
出産前後の女性たちが生活していた出部屋跡地で、
生命の誕生を表現している。



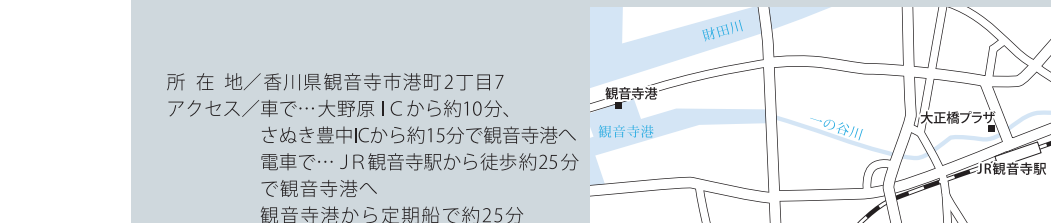
大きな椅子



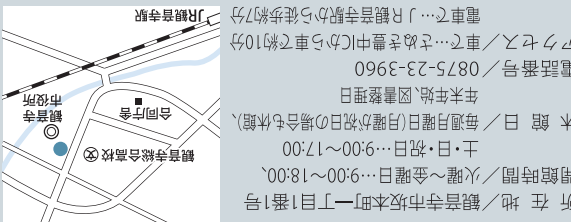
ハートのベンチ



旧伊吹小学校校庭にある、防災センター。



所在地／香川県観音寺市港町2丁目7
アクセス／車で…大野原ICから約10分、
さぬき豊中ICから約15分で観音寺港へ
電車で…JR観音寺駅から徒歩約25分
で観音寺港へ
観音寺港から定期船で約25分



所在地／観音寺市坂本町一丁目1番1号
電話番号／0875-23-3960
休 暇 日／毎週月曜日(月曜が祭日の場合も休廊)。
土・日・祭日…9:00～17:00
開廊時間／休廊…休廊日…9:00～18:00。
年中無休、図書室日
アクセス／車で…さぬき豊中ICから車で約10分
電車で…JR観音寺駅から徒歩約7分

自由と本の世界を楽しめる。
鳥の結まる高い壁により外部の音が遮断され、
ウッドデッキに石の作品が設置されている。
明るい光が差し込む高いガラス戸の外に出ると、
本を読みながらアートの触れよう

⑦ 観音寺市立中央図書館

かんおんじしりょうこうとくしょかん



所在地／観音寺市古川町85番地1
電話番号／0875-25-0000
アクセス／車で…さぬき豊中ICから車で約5分

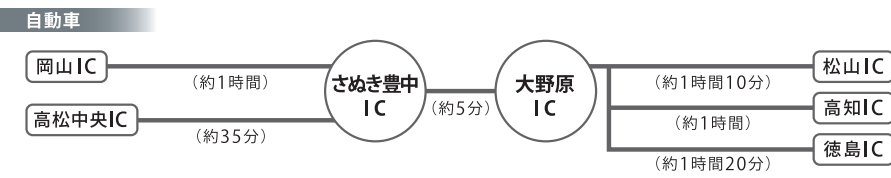
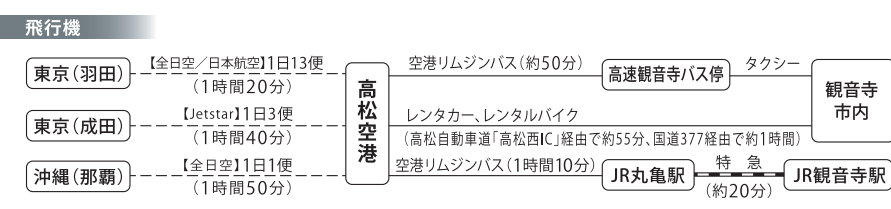
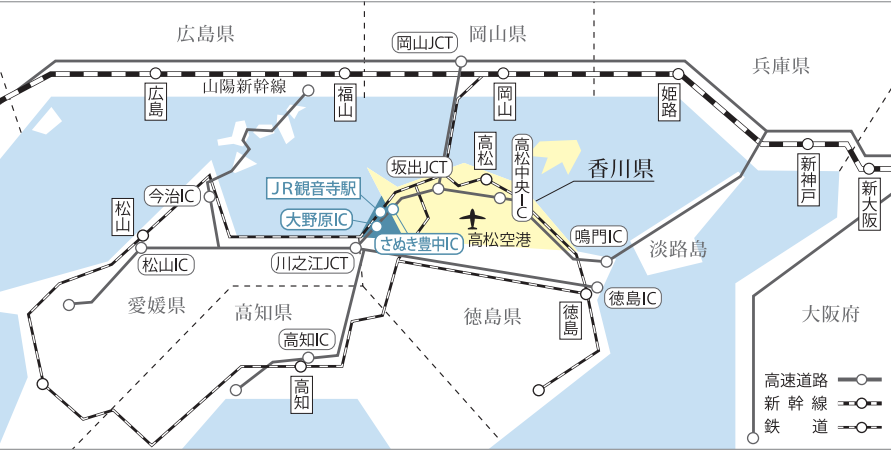
「吾を観るまら観音寺」をイメージして作られた作品。
また、ノ谷総合コミュニケーション建築は、
インター・インフラスペースデザインセンター建築は、
デザイン賞を受賞した岸上克康氏による設計。

アートをまちづくりのスタート地点

一ノ谷総合コミュニケーションセンター

いちのたにそうごう

観音寺市へのアクセス

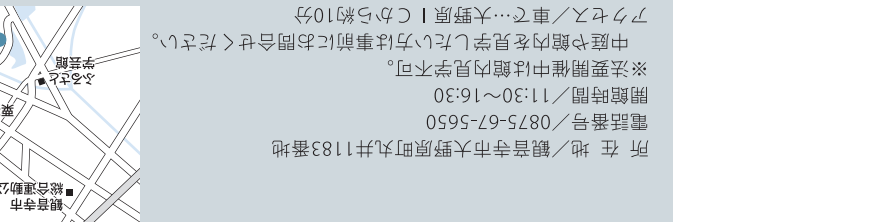


● 大阪から「観音寺エクスプレス」で観音寺駅(約4時間50分)
● 神戸(三宮)から「観音寺エクスプレス」で観音寺駅(約3時間40分)
● 松山から「坊ちゃんエクスプレス」で高遠観音寺(約1時間50分)
● 高知から「黒潮エクスプレス」で高遠観音寺(約1時間30分)

観音寺市観光協会
〒768-0062 香川県観音寺市有明町3番37号
Tel 0875-24-2150 Fax 0875-23-0404
https://kanonji-kanko.jp/



※掲載情報は変更になる場合がありますので、ご了承ください。 発行・制作／観音寺市観光協会 2022年3月発行



所在地／観音寺市大野原町九井1183番地
電話番号／0875-67-5650
開廊時間／11:30～16:30
※所要開廊中は観音寺市観光協会へお問い合わせください。
中庭や廊下を見学したい方は事前にお問い合わせください。
アクセス／車で…大野原ICから車で約10分

生と死を通して自然観や宇宙観を体現した心ある空間
”身近な人々を送る場所”という斎場のコンセプトに立ち返り、古代からある土(瓦)、
木、石といった日本家屋には欠かせない素材を多用して建築した。斎場の門を入り、
左手の芝生に置かれた石は、家族・友人、人生を共に生きた人々を表現している。
待合室から見える海の波のように設置された石、自然への回帰、そして土葬を通して
星の山々を借景し、心安らぐ空間を修景している。

⑤ 燦星苑

まじほしえん



徳島県の山々まで望むことが出来る。



さんたろう

源元明石山
て気るを
あそび
静かな
うけ
さ